



新任医師の紹介



鈴木 利也医師
(内科)

この4月より東陽病院内科に勤務することになりました。

地域住民の皆様から厚く信頼される医療を目標に、日々の診療に携わっていきたくと考えています。よろしくお願いたします。



里見 大介医師
(外科)

本年4月より東陽病院外科に勤務することとなりました。

3月まで、八日市場市民総合病院にて診療を行って参りました。当地域住民の皆様にもお役に立てるよう、より良い医療を目指し努力致したいと思っております。よろしくお願いたします。



豊田 亮彦医師
(外科)

この4月より外科に勤務します。

民総合病院より、引き続き当地域の皆様のお力にもなれたらと考えています。外科受診の際には、気軽に相談ください。よろしくお願いたします。

文芸

俳句

パフィオと呼ばれる小さき蘭の花
日本大賞に輝きあたり

宇井 ちい

太陽が雲に隠れぬ吾が影も
透明人間となりて消えたり

八角 三枝

暗闇に啼き離りゆく猫の声
別れ告げしか死なれて想ふ

吉岡 信子

挿木せし姉の訪ひ来し心地して
沈丁花の花庭に咲きあつ

池田 春江

自力にて動けぬ流木思ひつつ
転びしままに起らず伏しあつ

佐瀬 初音

スポットライト浴ぶがに朝の日の光り
窓を透かして吾にあたり

鈴木 やす

面打ちぬその瞬間に道場の
春の空気の四方に散りたり

西山満里子

降りやまぬままに日暮れてともす灯に
軒の雫が光りて落ちる

萩原 信一

ごみを焼く焼却炉の中たちまちに
火の強まりて炎吠えゆく

永藤 滋

農業を使はぬと友は胸を張り
葱振りくれぬ吾を待たして

秋葉 悦子

ひとたびは覚えし星座の名も忘れ
空にささめく星を仰げり

選者 斎藤つね子

短歌

詠む歌のなんと明るし歌の友
重き病ひを持つと聞けるに

田崎 尚美

“降ります”のバスのランプを同時に押し
老いし御夫妻笑ひ合ひたり

真家ふじ子

開かむと紅蓄えし桜かな
駅裏の眼下に芹田広がり

選者 玉虫 栗扇

山吹の少女は云わず花一枝
水田引く一号线や土手青む

今関 茂生

春燈やとれたて野菜膳に満つ
通学の子らはしやしやく花堤

藤代 ゆう

人形の小さき口もと花蘇枋
春燈やはるかなる森真砂女逝く

福田 幸子

豆の花黒き腫のゆらぎなし
春燈し生活のリズム整ひぬ

戸村 静華

今関満喜子

